

# 北信濃里山通信 vol.16

2014年4月30日発行

## 巻頭言 「ユキツバキの校章」

北信濃の里山を保全活用する会会長 井田 秀行

飯山市の城北・城南中学校の校章はどちらも、同市の花であるユキツバキがモチーフとなっています。

ユキツバキはその名の通り、飯山のような雪国に育つツバキの木です。花言葉は「可憐（かれん）」。残雪が消える5月頃、ブナの木々 の下で可愛らしい赤い花を咲かせます。

大木には決して成らずとも巧みに雪を利用しながら生きる木です。冬の間、重い雪の下敷きになった樹木の幹は地面に押しつけられますが、ユキツバキは地面に接したところから新しく根を張り、芽を出すという特殊な能力を備えています。それだけではなく他の多くの木と違うのは、雪の中でも緑色の葉をつけたまま冬越しすることです。雪の中は外気よりも温かいため葉 が凍結することはありません。天然の毛布の役割を雪は果たします。

雪と共に生き、美しい花を咲かせるユキツバキにちなみ、城北・城南中学校の校章には「清らかに力強く生き抜く」という意味が込められています。

私事ではありますが、4月から娘がお世話になっている城北中学校の入学式で保護者代表挨拶を仰せつかった際、このユキツバキの話題 を取り上げました。

ユキツバキやブナといった日本固有の自然が身近にあること、またそのような環境にある学校に地域の子供も通えることを、私は誇りに思っています。



## お知らせ

### ・飯山市ふるさと館 企画展

『いいやまの四季をはこぶ昆虫や鳥たち ～すべて 出会いが はじまり～』

飯山の豊かな自然に棲む、特徴あふれる昆虫や身近な鳥を、たくさんの写真やパネルで展示紹介します。展示期間は平成26年4月29日～6月15日（月曜休館）、開館時間は、9:00～18:00（入館は17:30まで）です。

入館料（大人200円・小中学生100円）が必要になります。

なお、企画展関連講座として、飯山市在住の昆虫研究家・関口信男先生が「飯山市の昆虫」と題して御講演されます。日時は、5月24日（土）午前10時～11時、会場は飯山市ふるさと館学習室です。

事前の申し込みは不要です。チラシは以下のwebサイトを参照してください。

<http://www.city.iiyama.nagano.jp/assets/files/furusato/kikaku/26mushi.pdf>

## ・飯山市戸狩地区への「オオルリシジミ試行的放蝶」

昨年に引き続き、飯山産オオルリシジミの絶滅回避対策として、試行的に戸狩地区のオオルリシジミの生息に好適な草原環境に蛹を放飼する作業を行います。作業は、赤玉土と蛹が入った小型植木鉢の土中への埋め込み、看板の設置などです。

今年は、放飼頭数を昨年よりも増やし、定着効果を検討しつつ、周辺に食草・クララの植栽作業も計画的に行う予定です。

また、時期的に少々早いかもしれませんが、当地周辺に生息するギフチョウの調査、観察を併せて行いますので、関心のある方は参加ください。参加申し込みは不要です。

【日 時】 5月6日(火) 午前9時～12時(少雨決行)

【集合場所】 飯山市戸狩スキー場 星降るレストラン(飯山市大字豊田6356-2)

その後、放飼場所に移動します。作業ができる服装でお越しください。

※羽化は6月上旬から始まると思われませんが、5月下旬から発生状況調査を随時行います。

## ・「第3回・オオルリシジミ親子観察会」

今年も、SAVE JAPANプロジェクトの助成をいただき、「第3回オオルリシジミ親子観察会」を以下のとおり行います。

【日 時】 6月8日(日)及び15日(日)  
午前9:00～12:00

【集合場所】 飯山市公民館(飯山市飯山1436-1)

【日程など】 午前9:00～受付、9:30開会

※9:45頃にバスで生息地へ移動します。

※参加者には生息地巡回によるオオルリシジミの観察とモニタリング調査(目視数をカウント)を実施していただきます。

【申込み】 いずれかの参加希望日を、飯山市教育委員会学習支援課(当会事務局・TEL:0269-62-3342)へ5月30日までに伝えてください。

【その他】 山歩きに適した服装でお越しください。小雨決行です。中止すべきような悪天候が予想される場合は、前日夕方までに連絡します。

※会員のみなさんには観察会当日、一般参加者にガイド・解説をお願いしたいと思っておりますので、協力ください。また、関心のありそうな方などに呼びかけをお願いします。



昨年の観察会から

## ・オオルリシジミ生息地環境整備

オオルリシジミ発生前の生息地環境整備として、注意看板の設置、ロープによる保護区設営、観察会前の遊歩道の草の刈り払い作業を行いますので、参加をお願いします。

【日 時】 5月24日(土) 13:00～、及び5月31日(土) 9:00～

※5月24日の午前は、「飯山市ふるさと館」で行われる関口先生の講演会に参加しましょう!

作業の終わりの時間は参加人員・作業の進行によります・・・。

雨天の場合、翌日の5月25日(日)、6月1日(日)に順延しますが、実施不明な場合は前日の夕方、当会事務局(飯山市教育委員会) TEL:0269-62-3342へ問い合わせください。

【集合場所】 飯山市公民館駐車場としますが、直接生息地に向かわれても結構です。

作業のできる服装でお越しください。



## 活動報告

### ・「定期総会」と「ブナの森雪山観察会」の開催

3月8日（土）、なべくら高原「森の家」にて本年度の当会定期総会と「ブナの森雪山観察会・スノーシュー体験」を開催しました。

当日午前に行われた定期総会では平成25年度の事業報告、26年度の事業計画、役員改選などが承認されました。当会の広報・採集者対策部会長を務められた飯山市教育委員会の望月静雄さんが本年3月で退職され（お疲れさまでした・・・）、新たに会員の三井彰さんに部会長をお任せすることとなりました。

総会終了後、参加者の自己紹介が行われ、各自の生い立ち・近況や北信濃の里山への想いなど語っていただきました。当会も、今年で4年目を迎え、オオルリシジミの保護活動の他、幅広い視点で里山の保全活動ができればと考えます。

午後で開催されたブナの森雪山観察会では、「森の家」のスタッフの方々に講師をお願いし、スノーシューの歩き方の基礎を学びながら、周辺を周回しながら雪山ウォーキングを楽しみました。当地は3mを超える積雪で、夏場とは歩く位置・高さが異なり、普段は手が届かない樹木の梢も、この時期は膝下の位置にあり、ノウサギなど野生動物の貴重な餌になっているというお話などをうかがいました。



「森の家」スタッフの方々から御案内



樹にできた「虫こぶ」を観察



ミズナラの休眠芽でミドリシジミ類(蝶)の越冬卵探し



豪雪に耐える小屋・・・



## ・飯山市五束活性化委員会主催 第17回『カタクリの道 観察会』

4月20日、飯山市豊田五束地区で恒例の『カタクリの道観察会』が開催されました（当会は後援）。今年は昨年よりも雪解けが遅く、カタクリは日当たりのよい場所で咲きはじめてでしたが、フクジュソウは咲き乱れ、当日は天気もよく、盛況でした。



井田会長によるカタクリの生態解説（種はアリが運ぶなど・・・）、県自然観察インストラクターの高橋勤さんによる植物ガイドを聞きながら「カタクリの道（看板設置など五束活性化委員会のみなさんが整備・・・）」を周回しました。お昼はフキ味噌付の「焼きおにぎり」をごちそうになり、飯山の春を味わうことができました。



## 編集後記

会の活動も4年目がスタート、オオルリシジミの保全のほか、北信濃の多様な自然に視野を広げ、他団体とも連携して取り組みを進められれば・・・と考えます。

当会の総会が開催された3月8日、信州大学農学部の中村寛志先生（当会の顧問）を世話役として「公開シンポジウム・生き物と人が豊かに生きる絆づくりin安曇野」が開催されました。大阪府立大学の石井実先生、信州大学副学長の笹本正治先生の講演の後、フロアディスカッションとして自然保護団体から活動紹介が行われたようで、最後に信州の生物多様性を保全するため、団体のネットワークづくりを進めることとまとめられたとのこと。今後の会の活動を発展させるうえでも、そのような「つながり」を深めていければと思います。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会 会長 井田秀行  
事務局：〒389-2253 飯山市大字飯山1436-1  
飯山市公民館内  
TEL：0269-62-3342 FAX：0269-62-5940  
E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp  
編集者・事務局長：福本匡志